

ラセンソウ

Triumfetta japonica Makino

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

被子植物門 双子葉類 離弁花群

環境省：該当なし

シナノキ科

選定理由

岡山県内では2カ所の標本がある。1カ所は、2006年秋、瀬戸内市邑久町の狭い休耕田で、果実をつけたラセンソウの群生を発見した際のものである。そう果にはかぎ状の棘が一面にあり、他物にすぐ付着するが、除草剤散布で分布を広げることなく一年で消滅した。もう1カ所は現状不明である。

存続を脅かす要因

道路工事、農薬汚染、自然遷移、農薬汚染（除草剤散布）

分布状況

県内：北部、南部。

県外：本州（関東以西）、四国、九州、琉球。

生育情報

道ばたや畑に生える一年草で、茎は高さ60～120cm。葉は卵状皮針形、長さ5～13cm、先は長くとがり基部は円心形、薄く、両面脈上にあらい毛がある。托葉は線形で反り曲がる。花は8～10月。黄色で径約5mm。果実は球形で径6～7mm、表面の刺毛に毛がある。

文献番号 65, 72, 130

(小島裕子)



撮影：狩山俊悟



ハマボウ

Hibiscus hamabo Siebold et Zucc.

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

被子植物門 双子葉類 離弁花群

環境省：該当なし

アオイ科

選定理由

現存する集団数、個体数は極めてわずかで絶滅寸前である。

存続を脅かす要因

海岸開発、道路工事

分布状況

岡山県では瀬戸内市の島しょ部にわずかに生育が確認されている。かつて岡山県東部の本土側海岸部に自生していたことが、大久保（1999）などにより報告されているが、この自生地は道路整備のため絶滅している。国内では本州（関東南部以西）、四国、九州に分布し、海岸部の泥湿地に生える。

生育情報

高さ2～4mになる夏緑性低木または小高木。葉はふつう円形～広卵形、長さ3～6cm、幅3～7cm、縁に鈍い細鋸歯がある。葉先は鋭形、基部は円形またはやや心形となる。花は7～8月、枝の上部の葉腋に1個だけつく。花の径は約5cm、淡黄色で中心部は暗赤色となる。果実は卵形で、長さ約3cm、褐色の剛毛を密生する。

特記事項

「自然公園法」により、瀬戸内海国立公園において指定植物に指定されている。

文献番号 73, 121, 127

(狩山俊悟)



撮影：狩山俊悟

